3　本時の学習（5／6）

⑴　本時の目標　　・行い方を理解するとともに，リズミカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。【知識及び技能】

・自己の能力に適した課題の解決の仕方，競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。【思考力，判断力，表現力等】

・運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができる。【学びに向かう力，人間性等】

⑵　準備　めあて板　ミニハードル　コーン　メジャー　トンボ　わたしたちの体育　振り返りボード　ワークシート　iPad　袋　踏切板

⑶　展開

学習活動	教師の支援（〇，吹き出し）と評価★
1　場の準備をし，やってみよう（さわやかタイム）で予備運動を行う。（3分） 2　本時のめあてを確認する。（3分） うまく跳ぶためのポイントは何？ リズミカルな助走 踏み切り 空中姿勢や遠くへの着地。 自分の課題を見つけ記録をのばそう。	〇ホワイトボードに本時の活動を掲示し，学習の見通しを持たせる。 〇遠くに跳べないときの助走を想起させ，どのような助走がいいのかという点に着目させる。 〇助走の最後がどのような動きになっているのかが大切なことに気づかせる。
3　運動のポイントを確認し，実際に跳んでみる（6分） 4～5m 力強く踏み切りができないな。【する】 リズムよく跳べないな。【する】 踏切でスピードがいちばん速くなるようにしよう。【する】 リズムは上がるけど，スピードがあがらないな。 着地に失敗した。【する】	〇よい動きをしている児童に対して，どのような感じで動いているのか尋ね，言語化できるように支援する。 〇友だちにアドバイスしたり，励ましの声かけをしたりしている児童や意欲的に運動に取り組んでいる児童を積極的に賞賛する。 ★自己やグループの能力に適した課題を見付け，課題に応じた練習の場や段階を選んでいる。【思考・判断・表現】
4　撮影した動画をみながらやってみた感じをチームで話し合う。（5分） 空中で前をむいたら遠くまで足がとどくよ。【知】 袋を置いてその先に着地してみよう。 始めは地面を力強くけって，最後は素早くける感じがいいよ。【する】 踏切板を使って強い踏み切りをしてみよう。 どんな練習をしたら，もっと遠くまでとべるようになるかな？ ハードルを使って練習したらリズミカルな助走が出来るよ。【み・支】 徐々に体を起こしながら走るといいね。 友達のリズムを言葉で表してみよう。	〇示範ビデオやつまずきビデオをもとに課題を見つけ合うように助言する。 〇児童へどんなことを考えていたのか，なぜ動きの質が高まったのかなどを尋ね，児童に考えさせるように促す。 〇動作のポイントをオノマトペ等を使って表現させ，共有のイメージが持てるようにする。 〇跳んだ児童にどんな感じで跳んだのかを聞き，感覚を言語化していく。
5　話し合ったポイントに気を付けて，跳んでみる。（１５分） 助走（ミニハードル等） ハードルを使うとリズムよくとべているよ。【見】 踏切板を使って，跳ぶ位置に注意してみよう。【支】 袋 砂場 着地（袋等） 踏み切り（踏切板等） もっとリズムアップをしてハードルを跳んでみよう。 踏切板を外して，強い踏み切りをしてみよう。 袋の先に着地しようとしたら，足から着地できた。 もっと遠くに踏切板を置いてみよう。	★仲間の考えや取組を認めようとしている。 【主体的に学びに取り組む態度】 〇友達のコツを意識して跳んでみるように促す。
6　グループで記録測定をする（5分）	
7　ふり返りタイム・片付け（8分）　ふり返り板をもとに，自分や友だちができるようになったことを話し合い，ふり返りカードに記入する。 リズムよく走るとスムーズに踏み切ることができるとわかった。 友だちのアドバイスがわかりやすかった。 もっと遠くに跳びたいな。 次は仲間と協力して，日南ジャンプ記録会で記録をのばそう。	〇本時のめあてに対するできばえ，楽しさの観点から振り返りを行う。 〇次時のめあてを確認する。